

## 令和5年春期 能見台地区推進連絡会要旨

### 1 日時

令和5年3月25日（土）15:30～17:00

### 2 場所 横浜市能見台地域ケアプラザ

### 3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係	16名
（支援チーム、その他行政側）	
区役所	6名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	3名

計 25名

### 4 意見交換要旨

(1) 令和5年度 金沢区予算の紹介 【金沢区役所総務課長】  
令和5年度の「個性ある区づくり推進費」について資料を使い説明を行なった。  
→ 質問はなし。

(2) 第4期地区別計画振り返りについて 【事務局長】  
(目標の5本の柱ごとにグループワーク)  
事前に単位町内会に令和4年度に取り組んだ取組や活動について振り返りを  
実施し、第4期地区別計画・振り返りシートにまとめた。それを共有したうえで、  
来年度はどのように地区別計画を推進していくか、5つの目標からテーマ別に  
4グループに分かれて意見交換を実施した。またイベントや事業推進するうえで  
担い手不足を解決できるアイデアについて併せて意見交換をおこなった。

#### ア 笑顔あふれる街

今年度好評だった能見台ウォークラリーについて、テーマを決めて年4回実施  
したい。また規模については、主催者の負担を考慮し、大きな規模や小さな規  
模で実施するウォーキングラリーを実施するのはどうか。グランドゴルフ等、  
シニア世代と多世代が交流するイベントを引き続き実施したい。  
また、地域の小・中・高・大学の生徒が積極的に運営側に関わってもらい  
仕組みなども検討していきたい。

#### イ 情報共有ができる街

○単位町内会の情報交換・交流  
定例会で困ったこと等情報交換する時間を不定期に実施していたが、来年度

は定例会の2回に1回は機会を作っていきたい。

○住民に対しての情報提供

不審者情報を地域住民に伝える方法、手段について検討したい。インスタグラム、LINEの活用以外にもチラシと併用して実施する必要がある。65歳以上の方は対面コミュニケーションが有用な方が多い。

ウ 協力しあえる、安心して暮らせる街

○一斉清掃については、役員だけでなく誰でも飛び入りで参加できる工夫が必要。

○連合の取組については、特定の人に負担がかかり過ぎているので、協力しあえるように、チェックリストの作成や行政との役割分担について検討したほうがいい。

○火災について訓練を実施している地区がある。

○区役所が配布している、ドアノブに掛けて安否確認を行うというツールがあるが、使い勝手がよくない。安否確認については、単位自治会・町内会で行うことになるが、やり方について連合の中で情報交換していてもいいのでは。また、要援護者リストの取り扱いについても同様。

○子供の見守り活動を広げていっていいのでは。

エ 助け合える街

○グランドゴルフについて

参加しているのはシニア層が多い。子どもたちとの交流するためにスナッグゴルフ (SNAG golf) を導入し大会を開催するのはどうか。

○移動手段の検討

区役所と地域を結ぶ直通のバスがあるといい。

買い物が大変になっている方がいることから移動販売の検討をしてはどうか

○住民同士が気兼ねなく集まれる場所の創出

住み開きをしている家屋の利用方法の1つとして子ども食堂を開催してはどうか。

オ さらに担い手・ボランティアの創出についてどうやっていったらいいのか

○子どものボランティアを育てる

地区フェスタにビブスをつけて参加してもらおう。また地元の大学、近隣の高校と連携し声をかけ、ボランティアを増やす。

○ボランティアについて協力が得られやすい方法を検討する

やってもらうことを具体的にわかりやすく、決めてから声をかける等の工夫をする。年間計画を周知し、いつ人手が必要になるのかを早く知らせる。そうすれば空き時間を利用して協力してくれる人が増えるのではないか。